

第7節 5日目：11月24日（金）：讃岐相生～造田 曇り／晴れ

2023年11月24日（金）曇り／晴れ、JR四国一筆書きの旅の5日目は、高德線の讃岐相生駅から造田駅までの営業キロ26.3kmに挑戦する。本日も昨日と同様、徳島駅5時51分発の始発で讃岐相生駅まで移動する。昨夜も目覚まし時計を4時にセットし臨む。しかし、本日も3時頃目が覚め、チェックアウトの準備をする。昨夜、睡眠時間は短かったが熟睡できる。5時20分頃、重いリュックを背負い東横インをチェックアウト。昨日と同様、讃岐相生駅に到着するまでは暗闇の中であった。それ故、昨日苦勞して踏破した道筋が確認できず。やっと讃岐相生駅手前で薄明るくなる。



※ホテルチェックアウト、徳島駅



※讃岐相生駅

本日の各駅舎到着時刻は次の通り。

讃岐相生(6:33)～引田(7:18)～讃岐白鳥(8:40)～三本松(9:52)～丹生(にぶ、11:13)～鶴羽(12:32)～讃岐津田(13:16)～神前(かんざき、15:33)～造田(16:16)

①これまで香川県の徳島県境にある駅は引田駅と思っていた。しかし、それは誤りで讃岐相生駅であった。讃岐相生駅と阿波大宮駅に停車する列車の本数は、上り下り合わせて13便と庶民の足としてはNGだった。6時33分、国道11号線を昨日と反対方向に進む。6時46分、松山199km、高松41kmと記した道路標識前を通過する。6時50分、相生郵便局前を通過。6時57分、大川橋バス停(徳島バス)前を通過。7時より万歩計で154歩ある馬宿川を渡る。7時3分、高松40km、さぬき市28kmと記した標識前を通過、引田駅には7時18分到着。この駅は物心ついた頃から馴染みのある地名であった。それは、祖母の里が富田にあった関係で幼少時代何度も井戸から、引田行の大川バスなどで富田に何度もお邪魔したからである。



※引田駅への路



※引田駅



※引田駅、笠置シズ子のポスター

②7時27分、セーターを脱ぐ。7時41分、バス停がある小海川（61歩）を渡る。7時50分、右手に香川県の象徴の溜池があった。8時13分、JR線を跨ぎ鉄道の左側となる。その先に伊座バス停（大川バス）があった。このバス停で実家近くのバス停（真行寺）を確認し、香川県の鉄道つたい歩きを実感する。8時30分、香川県立白鳥病院前を通過。讃岐白鳥駅には8時40分到着。ホームにある通路を跨ぎ、鉄道の右側となる。鉄道に沿って歩いた先に白鳥神社（8時57分）がある。この神社は幼少の頃参拝した記憶があるので懐かしくなる。これまでのお礼と本日の安全を祈願する。



※讃岐白鳥駅のホームを跨ぐ



※讃岐白鳥駅（さぬきしろとり）



※白鳥神社

③白鳥神社参拝後、9時、馬場前踏切を横切り、鉄道の左側となる。9時6分、東かがわ市役所があった。高松34km、さぬき市22kmと記した標識前を9時14分通過する。9時21分より、156歩あるみなと橋を渡る。9時40分、NTT西日本があった。三本松駅には9時52分到着。この駅には駅員がいた。



※三本松駅への路、大川バス



※三本松駅

④10時6分、79歩ある与田川橋（与田川）を渡る。10時17分、風が出る。しかし、いつの間にか感じなくなる。10時20分、11号線に合流する。この境界にある讃州讃岐屋で少し早いランチとして讃岐うどんを頂く。この店の立ち

寄りタイムリーであった。それはこれ以降讃岐うどん屋に遭遇しなかったからである。久しぶりに故郷の味を堪能する。大満足でこの店を20分位滞在し後にする。11時、親戚がある水主（みずし）の標識前を通過。11時1分、懐かしい引田行の大川バスと対面する。幼少時代を思い出し懐かしくなる。右手には高松方面に向かって”うずしお”が通過して行く。11時4分、町田という地名を通過。丹生駅に11時13分到着。この境界は長尾街道と国道11号線が合流した地点で、幼少時代からインプットされていたので懐かしくなる。。加えて、長尾街道はアスファルトだったが、国道11号線はアスファルトではなくこの工事をしていて懐かしくなる。



※讃岐うどんを堪能



※水主への標識、長尾街道への分岐点



丹生駅

⑤11時37分、左手ため池に沢山の鴨が泳いでいた。手を叩くと数羽の鴨が水面から飛び立つ。11時40分、日生化学前を通過。11時43分、うましの休憩所前を通過。この近隣にも親戚あり。11時58分、東かがわ市からさぬき市となる。12時4分、右往左往した結果、JR線を跨ぎ鉄道の右側となる。この歩きは後で確認したところ、地図の解釈の誤りと気付く。12時16分、海岸線を歩く。幹線道路から大きく外れた歩きのため、10分位ロスタイムが生じる。第六感が働き、再び国道11号線に戻る。そして、この幹線道路沿いにある鶴羽駅には12時32分到着。



※鶴羽駅への路



※鶴羽駅

⑥12時53分、高松23km、志度11kmと記した標識前を通過。13時8分、高松22kmとある標識前を通過。懐かしい讃岐津田駅には13時16分到着。この駅は幼少時代、毎年近所の人達と津田の海水浴場に来るために利用した駅であったので懐かしくなる。当時は本日の終着駅の造田駅からSL機関車で移動したのが昨日のように思い出された。久しぶりに素晴らしい松林がある琴林公園（津田の松原）を散策する。13時40分、赤い願い橋、叶え橋があった。琴林公園で30分位滞在しこの場を後にする。



※讃岐津田駅への路



※讃岐津田駅



※琴林公園

⑦国道 11 号線に戻る。13 時 56 分、津田郵便局、マルナカ前を通過する。14 時 8 分、神前 5 km、長尾 9 km とある標識を見て、国道 11 号線から左折する道路に方向転換する。少しでも近回りをしようと思い、14 時 26 分、田村踏切を横切り、山裾にある鉄道の左側の細い道路を歩く。線路の右側は川が流れていた。そのうちに、急な坂に突入し、幹線道路に合流する。暫くくねくねした山道を歩くと、T 路地にぶつかる。どちらの方向に進むか右往左往する。道筋を聞こうとするが人影なし。そのうちに、田んぼの中を走るレールを見つける。しかし、前方は小山や畑があり、鉄道に沿った道筋には遭遇できない。やむを得ず、小山に沿って、鉄道を直角に歩くことを余儀なくされる。遠くには T 路地で右往左往した幹線道路のガードレールがあり。運よく畑仕事をしている人に神前駅への道筋を聞く機会を得る。「100m 位戻った先にガードレールがある幹線道路に合流する歩道があります。そして、道なりに歩くと神前駅に行けます」と教えて頂く。感謝の気持ちで一杯となる。教えてもらった道筋を歩くと、右手に高德線の線路を見つけ安堵する。暫く歩くと T 路地にぶつかる。50m 位左に進むと、鉄道に沿った道がある。15 時 24 分より、121 歩ある船井橋を渡る。そして、暫く民家が繋がる道筋を歩いた先に神前駅（15 時 33 分）があった。この駅は幼少の頃から知っていた駅名であったが、これ程立ち寄りに難しい駅舎とは思わなかった。改めて、「こだわり鉄道つたい歩き」の難しさ・醍醐味を痛感する。



※神前駅への道筋



※船井橋



※神前駅

⑧造田駅への道筋は、神前駅への道筋に比べ花道であった。15時41分、第1山崎踏切を横切り、鉄道の右側となる。県道37号線を歩く。15時51分、48歩ある新川橋を渡る。風を強く感じる。16時、乙井県道踏切を横切り、鉄道の左側となる。間もなく歩くと、前方に実家から近い白山が見てくる。本日の終着駅造田駅には16時16分到着。駅舎は幼少の頃から大きく変わっていたが、懐かしくなる。友人から依頼があり、この駅舎の画像をSNSで送信する。運よく16時19分の列車に乗れる。



※造田駅への路



※造田駅

⑨1 両編成の列車の中は、高校生で満席の状態だった。高松駅には17時6分到着。兵庫町にある東横インには17時27分到着。汗を流した後、兵庫町にある“まいしょく家”でとんかつ定食を頂き、本日の上がりとする。なお、本日も一昨日に引き続き休肝日とする。観光あり、迷路あり、さぬきうどんありの充実した一日であった。



※とんかつ定食で上がり

第8節 6日目：11月25日（土）：造田～高松 晴れ

2023年11月25日（土）晴れ、JR四国一筆書きの旅の締めは、高德線の造田駅から高松駅までの営業キロ21.3kmに挑戦する。これまでのプランを前倒にして歩き展開したため、今回の旅で2回目、ホテルで朝食をとり臨むことができる。造田から高松までの路線は、2015年12月29日（火）踏破した琴電志度線に概ね平行して走っているところが多かったため、余裕をもって臨むことができる。また、幼少時代や青春時代に琴電志度線は時々活用したので馴染みある路線であった。8年前は、井戸にある実家から長尾駅、87番札所長尾寺経由で琴電志度駅まで（5km位）ジョギングして臨んだのが昨日のように思い出された。本日は、ホテルに重いリュックを預けて造田駅まで移動する。



※東横インをチェックアウトし高松駅へ



※高松駅から造田駅へ移動



※造田駅

各駅舎到着時刻は次の通り。

造田(8:12)～オレンジタウン(9:12)～志度(10:07)～讃岐牟礼(12:05)～八栗口(12:23)～古高松南(12:59)～屋島(13:22)～木太町(14:20)～栗林(15:10)～栗林公園北口(15:47)～昭和町(16:35)～高松(17:05)

- ① 8時23分、物心ついた頃から見続けてきた白山が4km位先に見える。この境界が今回の歩きで、実家に最も近い地点であろう。8時25分、68歩ある片山橋(鴨部川)を渡る。8時38分、鴨部川西踏切を横切り、鉄道の右側となる。小高い丘を上り下った先にオレンジタウン駅(9時17分)があった。近代的な駅舎であり、この駅始発から高松までのダイヤは一日3便あった。この駅は、私の幼少時代はなかった。この駅の開業は1998年3月とあった。それ故、2015年12月ジョギングした際にこの駅の存在を始めて知り驚いた。本日この境界を歩き、住宅占有面積のうち、30%位は残念ながら空き地の状態であった。そのため、オレンジタウンの住宅販売旗を随所で見かけた。



※遠くに白山が見える！！



※オレンジタウン駅への路、空き地あり



※オレンジタウン駅への路



※オレンジタウン駅

②ホームを横切り、鉄道を左手にした幹線道路に出る。9時30分、香川県のシンボル溜池が右手にある。9時56分、長尾街道踏切を横切り、9時58分、国道11号線に合流する。そして、鉄道の右側を歩く。10時7分、高松まで13km地点で、宮脇書店がある。私の記憶している限り、香川県以外では天童や彦根などで見かけた。志度駅には10時7分到着。この駅から、琴電志度駅（10時15分）、平賀源内記念館（10時20分）、86番札所志度寺（10時56分）、平賀源内旧邸（11時26分）を立ち寄る。いい観光であった。パンフレットによると、天才アイデアマン平賀源内は植物学者で、エレキテル、神霊矢口渡し、物類品（ひんしつ）、西洋婦人図で活躍したとのことであった。平賀源内記念館の10分ビデオは平賀源内の功績が上手くまとめられており、大変感銘を受けた。



※平賀源内記念館



※86 番札所志度寺



※平賀源内旧邸

③11時28分、長尾線の踏切を横切り、国道11号線に合流する。11時31分、さぬき市から高松市牟礼町となる。11時48分、道の駅”源平の里むれ”前を通過。ここは2021年8月、次男坊家族と夕食した際立ち寄った場所で懐かしくなる。この駅には列車が展示していた記憶が蘇り、懐かしくなる。11時54分、フコク生命高松東営業所前を通過。11時56分、松山167km。高松11kmと記した標識前を通過。国道11号線沿いにある讃岐牟礼駅には12時5分到着。ここから道路を挟んで琴電志度線の八栗新道駅があった。暑くなったのでセーターを脱ぐ、そして、淡々と歩いた先に八栗口駅(12時23分)があった。丁度、高松駅に向けて特急”うずしお”が通過して行く。



※道の駅の標識



※フコク生命の看板



※讃岐牟礼駅、琴電八栗新道駅



※八栗口駅への路



八栗口駅



※五剣山（麓に 85 番札所八栗寺あり）

④12時51分、高松8km、松山164kmと記した標識前を通過。12時59分、古高松南駅には12時59分到着する。高松行の列車がやって来る。



※古高松南駅への路、コンビニでカッシーチラシをコピー



※古高松南駅

⑤13時13分、栗林公園7kmの標識前を通過。県道155線線（旧国道11号線）の方向に進路変更する。屋島駅には13時22分到着。上りと下りのうずしおが離合する場面に遭遇する。駅舎には駅員がいた。駅構内の駅長の姿をした狸のキャラクターは印象的であった。



※屋島駅への路



※屋島駅への路





※屋島駅

⑥13時51分より、181歩ある新川橋（新川）を渡る。13時59分、香川トヨタグループ本社前を通過。14時1分、高松6km、栗林公園5kmと記した標識前を通過。14時7分より、227歩ある春日橋（春日川）を渡る。木太町駅には14時20分到着する。



※木太町駅

※新川、春日川を渡る

⑦14時31分より、122歩ある詰田橋（詰田川）を渡る。14時37分、高松駅4km、栗林公園3kmと記した標識前を通過。14時38分、高松国際ホテル前を通過。14時56分、琴電長尾線を横切る。15時、右手に本日宿泊のホテルNo1.高松が見えてくる。少し手間の路地を左折する。15時7分、高架した高德線を潜る。栗林駅には15時10分到着。ここから真っ直ぐ300m位歩いた先に、母校高松一高（15時18分）があった。5階建ての新校舎と最近できたばかりの体

育館があった。校舎前には昔からあったソテツがあった。懐かしくなる。10分位滞在し、遠くから母校を目に焼き付けこの場を去る。



※栗林駅への路



※栗林駅



※母校”高松一高”に立ち寄る

⑧15時26分、琴電琴平線の踏切を横切る、15時43分。栗林公園に面した三木武吉像前を通過。15時43分、栗林公園の北口に到着。沢山の観光客の姿があった。栗林公園北口駅には15時47分到着。10m位階段を上った先にホームがあり、沢山の外国人観光客で一杯だった。



※栗林公園



※栗林公園北口駅

⑨昭和町駅への道筋で、栗林公園に沿った歩道をボランティアで掃除をしていた90歳過ぎの元気な年配の方と話す機会を得る。母親より3歳位若いとのことであったが、元気そのものであった。10分位立ち止まって世間話をする。健康の秘訣は「身体を動かすことと食事や酒の節制」とのコメントを頂く。タイムリーなコメントを頂き、この場を去る。16時13分、石清尾八幡神社前を通過。ここから、鉄道に沿って歩くが、行き止まりや袋小路になって進まず。地元の人々の応援を得て、やっと昭和駅に16時35分到着できる。



※再掲



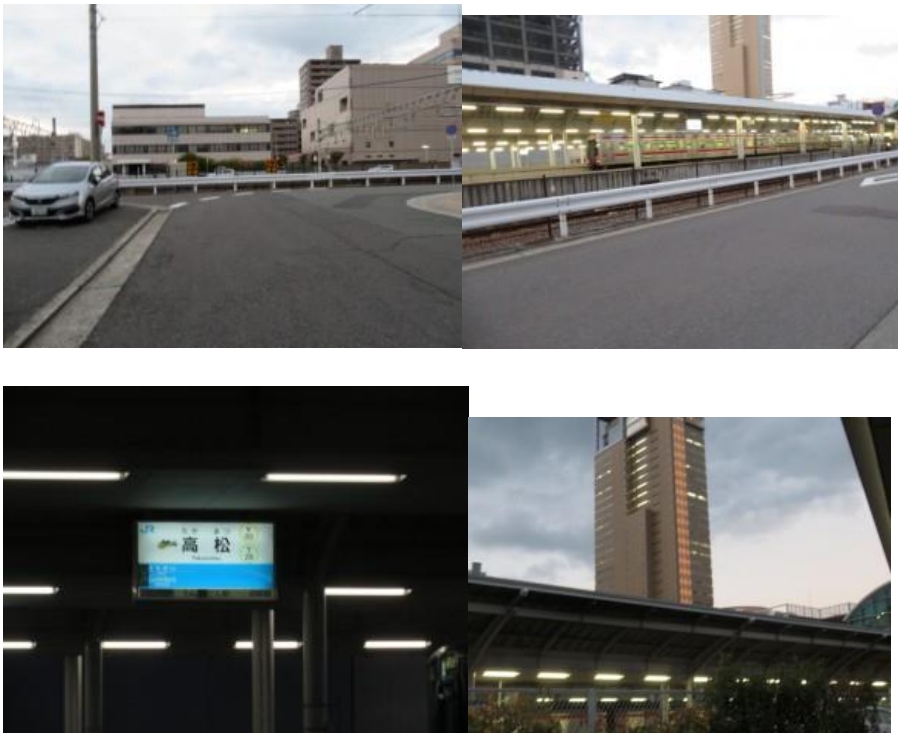
※昭和町駅への道筋





※昭和町駅

⑩高松駅への道筋は中央通りの方向に進む。歩いてても歩いてても到着できず。「高松も改めて広いなあ」と痛感する。途中で左折する。結果大正解であった。16時51分、新番丁小学校前を通過し、道路下を潜った先に高德線や予讃線の線路にぶつかる。そして線路沿いを歩いた先に高松駅（17時5分）があった。駅前で「JR 四国一筆書き達成！！」と記した団扇をもち、記念写真を撮る。感動と達成感で一杯となる。



※高松駅への路



※高松駅

⑪東横インで荷物を貰った後、青春時代歩いた丸亀町、南新町、常盤街を通り、本日宿泊するホテルNo1.高松を目指す。商店街の至ところでクリスマスツリーを見かけた。「今年も年末が来たなあ」と痛感する。ホテルには17時40分到着。汗を流した後、ホテルで紹介して頂いた和食”弁慶”にお邪魔し、**高德線踏破**や**JR 四国一筆書き達成**の祝杯をさせて頂く。ここでも隣の常連客と話す機会を得、楽しいひと時を過ごさせて頂く。感謝また感謝で充実した一日を送ることができる。





※ホテルへの路



※弁慶で祝杯